

## 地域福祉コーディネーターの機能と 市民社協地域専任担当職員の業務について

### 1 地域福祉コーディネーターの機能とは

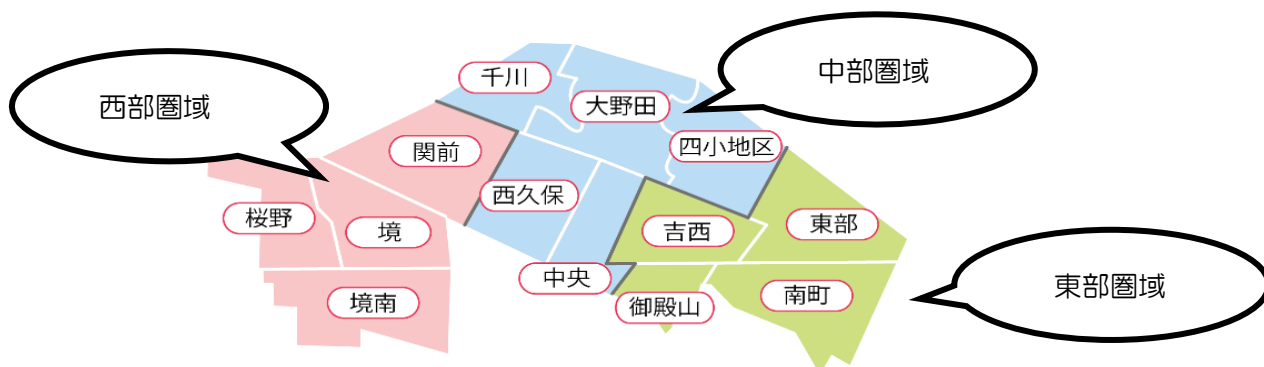
●地域福祉コーディネーターの役割や目指す方向性については、第3次地域福祉活動計画 P41～P49 に記載しています。

#### <参考>

名称	役割	所属など
地域福祉コーディネーター	「①個別支援」「②小地域の生活支援の仕組みづくり」「③小地域で解決できない課題を解決していく仕組みづくり」の3つの役割を担い、一定の小地域圏域に向向いて、住民と協働して問題解決に取り組む専門職。(東京都社会福祉協議会平成 29 年 3 月発行『地域福祉コーディネーターの役割と実践』より抜粋)	第3次地域福祉活動計画(P41～P49)では、市民社協職員を配置する予定であったが、現在配置していない。 ※平成 28 年度より市民社協では、地域専任担当職員として3圏域に1名ずつ配置している。
生活支援コーディネーター	高齢者の生活支援の充実を図るために、地域の社会資源の開発、ネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチングを行う、介護保険制度の地域支援事業において位置づけられた地域の支え合いの推進役。(武蔵野市高齢者計画・第7期介護保険事業計画 P155～156 より抜粋)	基幹型地域包括支援センター(市役所高齢者支援課内)と6カ所の在宅介護・地域包括支援センターに配置されている職員。
認知症コーディネーター	厚労省が進める認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)における認知症地域支援推進員。認知症ケアに関する相談助言と相談役のコーディネートや専門医療機関の紹介、認知症サポーター養成講座の企画・運営を行う。(武蔵野市高齢者計画・第7期介護保険事業計画 P155～156 より抜粋)	基幹型地域包括支援センター(市役所高齢者支援課内)と6カ所の在宅介護・地域包括支援センターに配置されている職員。
地域コーディネーター	学校からの依頼に対して、ボランティアのコーディネートや連絡調整など、学校と地域を結ぶ役割(市報むさしの平成29年6月15日号より抜粋、加工)	小学校12校、中学校6校にボランティアとして配置されている。(市民)

## 2 市民社協地域専任担当職員の業務について

- 市内13エリア（おおむね小学校区）を3圏域に分け、職員を「地域専任担当職員」として正職員を1名ずつ配置しています。（1名あたり4～5地域担当）



### ＜地域専任担当職員の主な役割＞

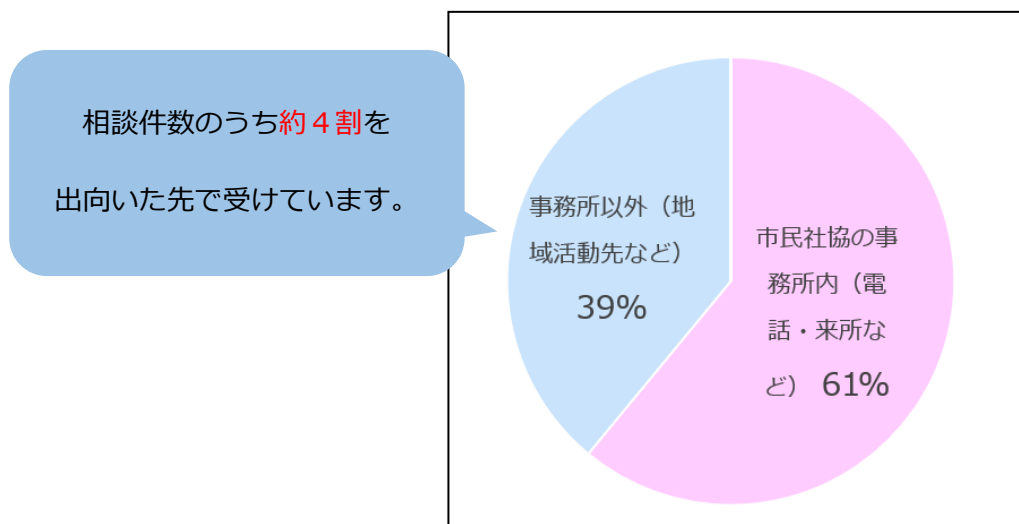
- (1) 地域活動団体（地域社協やテンミリオンハウスを含む）からの相談に応じる。  
例：「知り合い3人で居場所を始めたい」「活動の仲間を増やしたい」など 【団体支援】
  - (2) ニーズを抱えた個人（「〇〇のことで困っている」「ボランティアに来てほしい」など）やボランティアしたい（「自宅を地域のために活用してほしい」「何か活動を始めたい」など）個人からの相談を受ける。【個人支援】
- ※上記（1）（2）の役割のために「①活動先に出向き参加する」「②地域活動団体（ボランティア団体）の会議や打ち合わせなどへの参加」をしています。

**①活動先に出向くことの意義**：住民同士の交流の場や子育てサロン、居場所、その他地域活動等の活動の様子を知っていなければ、運営の支援はできません。  
⇒出向いた先で出会った市民と雑談を含めて交流しています。  
雑談から相談になることも多いです。

**②会議や打ち合わせなどへの参加**：話し合いに参加し、一緒に課題を考えたり、情報提供を行っています（他団体の事例の紹介やアドバイスなどを含む）。このような会議に参加する中で活動の様子を知ったり、地域の課題を把握することがあります。また、団体間の様々な出来事のフォローもしています。

## <地域担当職員が大事にしていること>

- (1) 住民が集まる場に出向き、顔の見える関係を築くことを大事にしています。  
⇒出向いた先での相談がたくさんあります。わざわざ問い合わせをしたり、相談機関に連絡することがハードルが高い人にとって、気軽に相談できる存在を目指しています。  
<参考> 相談を受けた場所 ※3圏域合計282件（平成30年度4～9月）



- (2) 住民に何かをやらせることはしない  
⇒住民に説得して何かを活動させることはしません。あくまでも住民主体の活動の側面的な支援をしています。やらされ感のある活動は継続しないと考えています。

## <地域担当職員の上半期の実績（平成30年4～9月の実績：3圏域合計）>

### (1) 個人支援 85件

#### 【ニーズを抱えている個人の相談 37件】

- 1位：福祉サービス、相談機関の紹介 11件
  - 2位：ボランティアの依頼 6件
  - 3位：居場所や住民同士の交流の場に参加したい 3件
  - 3位：特定の活動や内容に関する相談 3件
- <その他14件>

・国の福祉や地域福祉に関すること、ボランティアについての悩み（依頼者）など

#### 【ボランティア希望（活動）者からの相談 36件】

- 1位：ボランティア活動中の悩み、活動報告など 14件
  - 2位：寄付（寄贈したい）9件
  - 3位：ボランティアしたい 8件
  - 4位：地域活動等への見学の希望、紹介など 3件
- <その他2件>

・地域のネットワークに関すること、募金のあり方など

#### 【市民社協の事業に関連する相談 12件】

(2) 団体支援 167件

- 1位：活動費や助成金、会計処理に関する相談 26件
  - 2位：チラシの配布や広報、PRに関する相談 17件
  - 3位：メンバー間の悩み（考え方の違いなど） 15件
  - 3位：他団体との協力方法、関係についてなど 15件
  - 3位：ボランティア募集、協力者に関する相談 15件
  - 6位：他団体の視察、紹介など 13件
  - 7位：団体の今後の展望や大きな方向性についての相談 12件
  - 8位：居場所や住民同士の交流の場を立ち上げたい 10件
  - 9位：団体の会則、会議の方法、役割分担など運営に関する事 6件
  - 10位：マイクロバスの借用などについて 5件
  - 11位：空き家、空き店舗の提供に関する相談 3件
  - 11位：周年イベントについて 3件
- ＜その他16件＞
- ・活動場所を探している、ボランティア保険、行事保険など
- ＜市民社協の事業に関する相談 11件＞

(3) 関係機関からの相談30件 ※事務的な内容、地域活動に関係しない相談を除く

＜関係機関別＞

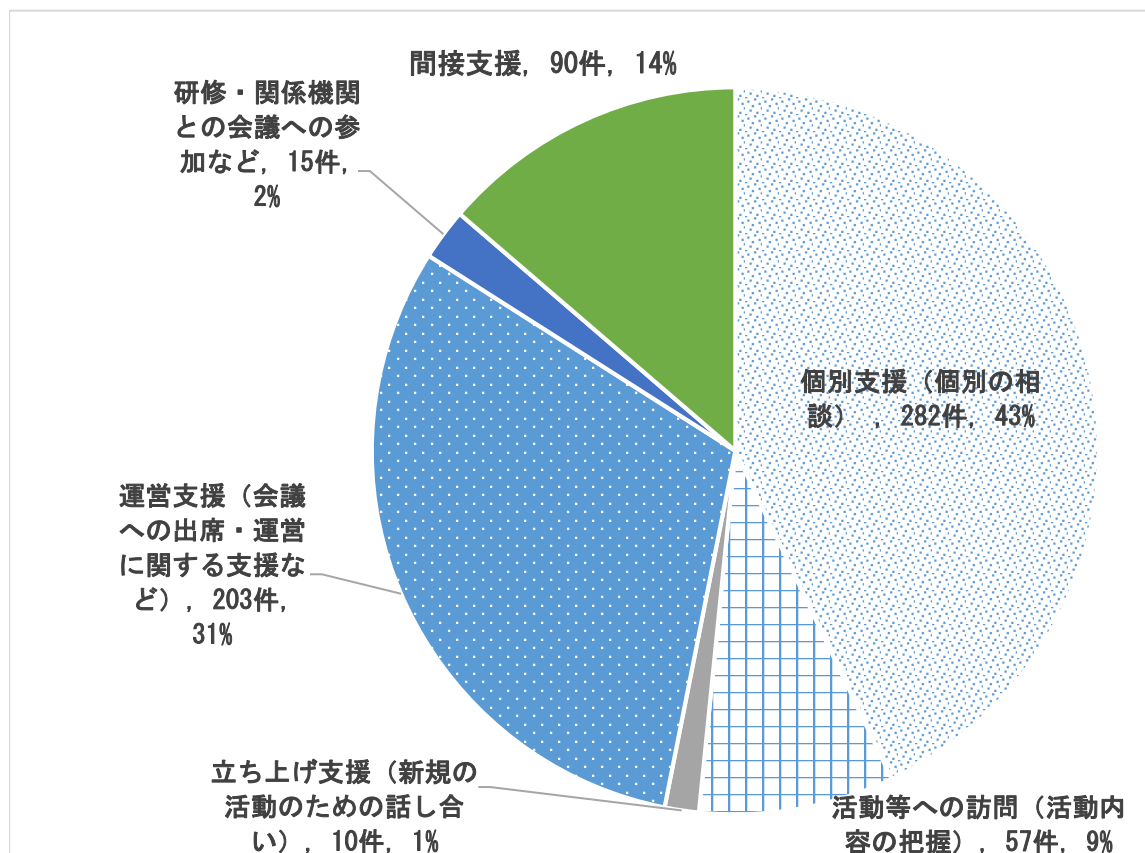
在宅介護・地域包括支援センター7件／地域支援課7件／障害者福祉課3件／高齢者支援課3件／子ども政策課2件／指導課1件／教育企画課1件／市民活動推進課1件／男女共同推進センター1件／武蔵野消防署1件／児童養護施設・精神障害関係事業所3件

＜相談内容別＞

地域社協に関する事10件／居場所づくりに関する事3件／シニアポイントに関する事3件／テンミリオンハウスに関する事3件／地域ケア会議2件／イベントに関する事2件／その他7件（特定の活動に関する事、行事保険、地域団体の事など）

#### (4) 支援内容別および支援先別の実績

##### <支援内容別>



##### 【間接支援内訳】

個人間接支援：40件

※個人の相談について関係機関等に地域担当から問い合わせ（相談）するなど

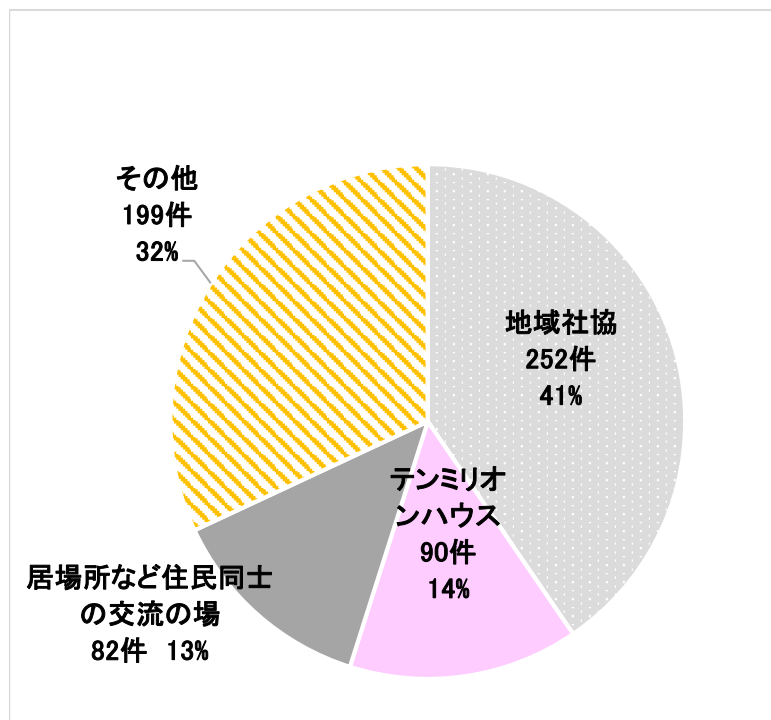
例：机を寄贈したいという人のためにテンミリオンハウスに問い合わせをするなど

団体間接支援：50件

※団体からの相談について、関係機関等に地域担当から問い合わせ（相談）するなど

例：場所を探している団体のために福祉施設に問い合わせをするなど

## <支援先別>



※その他は、個人や関係機関からの相談など

### 3 地域福祉コーディネーターの機能と市民社協地域専任担当職員について

市民社協の地域専任担当は上記2で記載したように、地域福祉コーディネーターの役割の一部を担ってきています。しかしながら、1名の職員が4～5地域（中学校区2つ分のエリア）も担当しており、制度の狭間にある（どこの相談機関の対象にも当てはまらない）人への対応や個人のサポートを地域住民につなげる部分については十分に出来ていないのが現状です。